

人間存在に組み込まれている暗闇を言葉の力でそびき出す!

最新小説『月』刊行記念

辺見庸さん講演会

最新刊・小説『月』のモチーフと執筆にいたる背景を語りつくす。

実際の障がい者大量殺傷事件に想を得て書かれた本書——

あの凶行とは、いったいなんだったのか? 現在と近未来のなにを予告するものか?

かつて誰も試みたことのない〈語られたくない事実〉の正体とは何か?

平成最後の年に矢継ぎ早に実行されたオウム絞首刑の実相、

アンタッチャブルなものは当たり障りなく済ませ、

権力の片棒を進んで担うメディアの劣化、

我々の心根の深層に巣くう欺瞞や都合のよい記憶の風化。

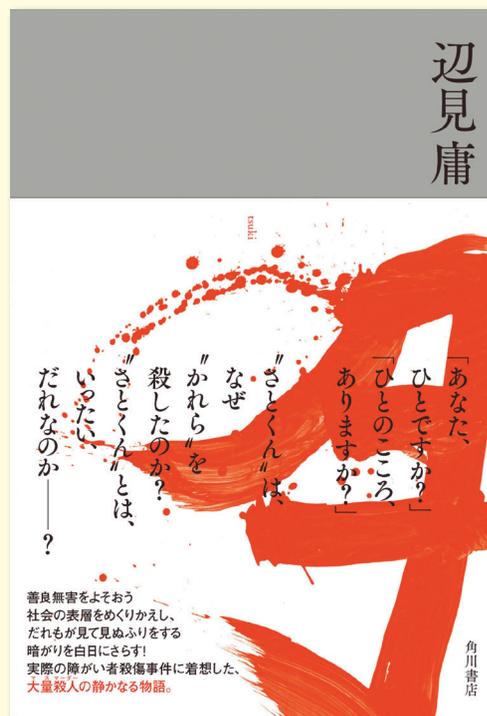
これまで巧妙に覆い隠されてきた、この国の頹廃と

あられもないまでの差別意識をあぶり出し、

「にんげん」現象の今日的破綻と「内面の崩壊」を喝破する。



辺見庸 1944年宮城県石巻市生まれ。70年共同通信社入社、北京特派員、ハノイ支局長、外信部次長などを経て96年退社。78年中国報道で日本新聞協会賞、87年中国から国外退去処分を受ける。91年『自動起床装置』で芥川賞、94年『もの食う人びと』で第16回講談社ノンフィクション賞、2011年詩文集『生首』で中原中也賞、翌12年詩集『眼の海』で高見順賞、16年『増補版 1★9★3★7』で城山三郎賞を受賞。他著に『赤い橋の下のぬるい水』『ゆで卵』『永遠の不服従のために』『死と滅亡のバンセ』『青い花』『霧の犬』ほか多数。



(10月31日発売、定価1700円+税)

2018年12月18日(火) 18:30開演(18:00開場)

講演会終了後、著者によるサイン入り書籍の対面販売を行います。

会場 紀伊國屋ホール 新宿東口・紀伊國屋書店新宿本店4F
TEL:03-3351-0141 (10:00~18:30)

入場料 1,500円 (税込・全席指定)

チケット
10/20
発売開始!

〈チケット入手方法〉

■キノチケットカウンターにて直接申し込み
(紀伊國屋書店新宿本店5F / 店頭販売10:00~18:30)

or ■キノチケオンライン 検索にて購入(座席指定可能)



※遠方の方やパソコン環境がない方でご参加希望の方は、購入手続きを代行いたしますので、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

《主催》株式会社KADOKAWA

《お問い合わせ先》株式会社KADOKAWA 文芸局 文芸図書編集部 松崎夕里 TEL:03-3238-8555 / FAX:03-3262-7646 / E-mail:matsuzaki-y@kadokawa.jp
〒102-8078 東京都千代田区富士見1-8-19 角川第3本社ビル